

## 1. 2004年度秋季総合分科会について

2004年度秋季総合分科会は北海道大学において、下記の通り行われます。

場 所： 北海道大学高等教育機能開発総合センター

日 時： 2003年9月19日(日)より9月22日(水)まで

### a) 企画特別講演について

1997年度年会より、日本数学会の理事会および学術委員会で特別プログラムを組んでいます。これは、大学院生等若い会員が学会に参加してより意義あるものにするを目的としています。具体的には、年会の第1日、第3日、第4日の3日間、13:00~14:00の1時間に企画特別講演を複数並行して行います。したがって各分科会、セッションの一般講演、特別講演の通常プログラムは午前中と午後2時以降となります。なお、第2日は従来通り総合講演を行います。

### b) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、会員名簿にとじこまれている講演申込書に記入してお申込下さい。その際会員番号を必ずご記入下さい。

数学会では、1995年度日本数学会秋季総合分科会(於東北大学)よりセッション「無限可積分系」を新設致しました。講演の発表、募集はこれまでの分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行われます。講演希望の方は、講演申込書の「希望分科」欄に「無限可積分系」とお書き下さい。

複数の講演を希望される場合は、題目ごとに一枚の講演申込書を用いて下さい。複数の分科会あるいはセッションにわたる場合は、その分科会名あるいはセッション名を講演申込書の備考欄にご記入下さい。また、OHPの使用を希望される方はその旨講演申込書の備考欄に朱書して下さい。

なお、大会運営上時間及び講演件数を制限させて頂くこともあります。

予稿(アブストラクト)原稿も、下記の注意に従ってご提出下さい。

講演申込先：〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院 理学研究科 数学専攻

日本数学会秋季総合分科会委員長 諏訪 立雄 宛

封筒の表面に“講演申込”と朱書のこと。

申込締切：6月25日(金)必着で申込先に到着するようお送り下さい。

(締切後の追加申し込みは受け付けられません。)

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

申込用紙：各題目ごとに、名簿とじこみの用紙、またはそれと同じ形式のものを用いて下さい。

予稿原稿：分科会によって指定のない限り、2003年度版 会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”に従って作成して下さい。数学通信第8巻3号の58ページに説明があります。予稿原稿の送付期限も、講演申し込みと同じく6月25日(必着)とさせて頂きます。

さて今回は、応用数学分科会と統計数学分科会以外の分科会で、TeXまたはワープロで作成した原稿をPostScript, PDF, DVIのいずれかに変換した原稿をwebにより受けつけることも行います。(TeXのソースファイルやワープロのファイルは受け付けられません。)受け取った原稿は北海道大学で印刷し、通常の方法で受け取った原稿と合わせ、予稿集の作成に使用します。今回は試験的なものであり、投稿されたファイルを公開することは

ありません。また、連絡先電子メールアドレスが表にできることはありません。

予稿原稿の電子的な投稿は

<http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/cgi-bin/abstract-msj.cgi>

にアクセスし、所定の項目を埋めた後に送信することで行います。分科会、タイトル、講演者、連絡先電子メールアドレスは必須です。web による予稿締切時間 **6月25日17:00まで**にご投稿下さい。

予稿原稿を電子的に送る場合にも、講演申込書は、**6月25日必着**で秋季総合分科会委員長宛てに文書でお送りください。講演申込書の題名と予稿原稿の題名とが一致していることにより、本人から送られた予稿原稿であると判断することに致します。

キ - ワ - ド・分類コード：函数論，応用数学，統計数学各分科会への講演申込に当っては、それぞれ次の分類コードから選んで講演申込書の備考欄にキ - ワ - ド等を記入して下さい。

函数論分科会：1 [ 1 変数函数論 ]，2 [ 多変数函数論 ]

応用数学分科会：1 [ 解析系応用数学 ]，2 [ 離散系応用数学 ]，3 [ その他 ]

統計数学分科会：1 [ 確率論，確率過程論 ]，2 [ 計画数学 ]，

3 [ 確率分布，標本分布，乱数 ]，4 [ 実験計画法 ]，

5 [ 多変量解析 ]，6 [ 時系列解析 ]，

7 [ ノンパラメトリック解析 ]，8 [ 漸近理論 ]，9 [ 応用統計 ]，

10 [ 推測理論 ] ( 3 ~ 7 に含まれないもの )，11 [ その他 ]

上の分類コードは、講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので、ご意見を代表評議員までお寄せ下さい。

### c) 予稿集について

各分科会、セッションとも予稿原稿に従って講演予稿 ( アブストラクト ) 集を作ります。

#### ( 1 ) 基礎論及び歴史・代数・幾何・函数論・函数方程式論・実函数論・函数解析・トポロジ - 分科会・「無限可積分系」セッション

上述の「b) 講演申込について」の“予稿原稿”に従ってご提出下さい。なお、予稿原稿を直接大会委員長宛に郵送される方は、講演申込書と同時にご提出下さい。

#### ( 2 ) 統計数学分科会

統計数学分科会では予稿集の原稿締切は講演申込の締切と同時ではなく、**2004年7月12日 ( 月 )**といたします。原稿送付の際には講演申し込みのコピーを添付して下さい。できれば連絡用の電子メールアドレスもお知らせ願います。送り先は

〒112-8610 東京都文京区大塚 2 - 1 - 1

お茶の水女子大学理学部

笠原 勇二 宛

です。提出された原稿をそのままコピーして印刷致しますから、所定の書式に従うようお願いいたします。用紙はB5用紙に限らせていただきます。ワープロ等使用の場合はページが印刷されないようお願いいたします。書式については2003年度版会員名簿を御参照下さい。TeXのdviファイル、もしくはPDFファイルを上記アドレスに送付していただいても結構ですが、コンピュータの故障やバージョンによってはうまく出力できないこともありますので、余裕をもって送付して下さい。締切を過ぎて到着した原稿は予稿集に収録出来ないことがありますから御注意下さい。

#### ( 3 ) 応用数学分科会

応用数学科会（別記のように申込件数は2件までに制限）では予稿集用の原稿締切は講演申込締切と同時ではなく、2004年7月16日（金）と致します。送り先は

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1  
徳島大学工学部共通講座  
今井 仁司 宛

です。提出された原稿は、そのまま原寸でコピー印刷しますから、所定の書式に従い黒インク（又は黒のボールペン、ワープロ）で楷書で丁寧にお書きください。書式については会員名簿の下敷きをご参照ください。長さは一件当り4頁以内とします。なお、講演に際してパワーポイント等の利用に必要なPCに接続するプロジェクターは使用できませんので予めご了解下さい。

d) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、会合の名称、責任者の氏名・連絡先、使用の日時・人数、弁当の有無等を明記した書面を下記に提出下さい。なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

申込先：〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
北海道大学大学院 理学研究科 数学専攻  
日本数学会秋季総合分科会委員長 諏訪 立雄 宛  
封筒の表の面に“会合申込”と朱書のこと。

申込締切：6月25日（金）必着。

e) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において行うものですが、今回の実務的な責任者は中屋敷厚氏（九州大学大学院数理学研究院）です。

f) 企画特別講演は、1996年度第3回評議員会において、了承されたものです。企画特別講演の講演者については分科会評議員、および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会で決定いたします。なお、アブストラクトは総合講演アブストラクトとあわせて作っています。

g) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は申込書2枚（日本数学会理事長宛、大会委員長宛）を申込締切6月25日（金）厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0033 文京区本郷5-28-1  
(株)友隣社

電話:03-3814-0275 FAX:03-3814-1156

h) 学会関係のお問い合わせ、ご連絡等

(1) 学会関係のお問合せ。ご連絡の電子メールは次のアドレスにお送り下さい：

[gakkai@math.sci.hokudai.ac.jp](mailto:gakkai@math.sci.hokudai.ac.jp)

(2) まだ完成してありませんが、ホームページが

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~gakkaiweb/MSJ/top.html>

にあります．札幌市内のホテルのリスト等にもリンクさせてあります．

9月の北海道は観光シーズンですので．早めに予約されることをお勧めします．